

テーマ

ふるさとの歴史・文化を学び、その魅力や価値を次世代に伝えよう！

事業実施地区（中学校区名）	仁多中学校区・横田中学校区
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	仁多中学校区：布勢公民館 三成中央公民館 亀嵩公民館 阿井公民館 三沢公民館 横田中学校区：鳥上公民館 横田公民館 八川公民館 馬木公民館

テーマの背景

奥出雲町内には、歴史的な場所、伝統技術、おいしい食べ物などが多くある。しかし、住んでいるからこそ気付いていない地域の良さがあるのではないかと考えた。そこで、地域の良さを学ぶ機会を提供し、ふるさとへの愛着、誇りをもってもらうこと、奥出雲町の良さを人に伝えることができる人を増やすことを目的にふるさと教育を考えた。今回は、町内2中学校区で奥出雲町がめざす姿等の共有を行うとともに、情報共有をするため2中学校区で2年間かけて奥出雲町のふるさと教育を展開した。

実際の取組

④ふるさとの魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を設定

事業名：シリーズで学ぶ仁多の宝《たたら》（仁多中学校区）

<取組の概要>

近年注目をされている“たたら”について勉強会を行った。地域のひと、もの、ことを活かした4回シリーズで、体験から座学までの多形態の研修を地域住民対象に実施した。

【H28年度】

Part1 たたらを知る：町内のたたら関連施設（可部屋集成館・角炉伝承館・たたらと刀剣館）に見学に行き、地域講師にガイドをしてもらう

Part2 たたらを感じる：たたらについての講義、ミニたたら体験

【H29年度】

Part3 たたらを見る：たたら関連映画の鑑賞、事業の振り返り

Part4 たたらを伝える：地元講師の講義、たたら学習の振り返り



<成果と課題>

5地区の公民館が連携し、シリーズ化しての学びは公民館の繋がりや地域住民の意識高揚に繋がり、事業の広がりにつながった。また、普段体験できないような体験をすることで、参加者はより一層“たたら”に関心を持ってくれた。一方で、今回は対象者を幅広くしたため、子どもから大人までが理解しやすい内容にするように考慮する必要があった。幼児教育や学校教育などのふるさと教育との関わり方（整合性）をさらに検討することで、一貫性のある事業になると思った。

④ふるさとの魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を設定

事業名：横田地域ふるさと探訪（横田中学校区）

<取組の概要>

横田地域に残る名所や史跡等を地元講師のガイドのもと探訪し、昼食には地元の伝統料理を食した。

【H28年度】

八川地区・馬木地区探訪 ～戦国時代の旧跡を巡る～
〈三国山、稚児が池、出合いの口、仏山、矢筈山、小林城跡〉

【H29年度】

鳥上地区・横田地区探訪 ～たたら関連施設を巡る～
〈日刀保たたら、羽内谷鉾山鉄穴流し本場施設、小万才砂鉄採掘切羽、追谷の棚田、鉄穴残丘、奥出雲たたらと刀剣館〉



<成果と課題>

実際に現地へ出かけ、そこで地元講師の説明を受けることで、ふるさとへの理解が深まった。ふるさとの歴史、文化、魅力などを次世代に伝えていくことの大切さをアピールする良い機会となった。また、公民館ごとに地域の状況が違うことに気づくこともできた。一方で、今回は参加者を保護者としたため、企画立案の段階でPTAに加わってもらうなど、参加者世代のニーズを把握することが必要であった。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

体験や参加型など本物と触れ合えるような研修内容を取り入れ、より参加者が関心を持ってくれるような事業の組み立てにした。とにかく地域のひと、もの、ことを活かすことを重視した。今回は、2年間かつ2校区でふるさと教育事業を進めることにより、前年度の振り返りを次年度に活かし、情報共有をとおして両事業をブラッシュアップしながら事業を実施した。

今後の展望

地域に残っているが、知られていない沢山の伝統や文化を掘り起こし後世に「伝える」ことのきっかけとなる事業を展開する必要があると思う。今回は、仁多・横田地区それぞれで事業を行ったが、全地区タイアップして事業を実施することにより事業の幅が広がるのではないかと考えている。奥出雲町の町民全員がふるさとの良さを共有するとともに、ふるさとを大切に思う気持ちを高めることにより、持続可能な地域づくりに迫っていきたい。